

2026年度

清風南海中学校入学試験問題（A 入試）

算 数（60分）

- 注意 ① 解答用紙に受験番号、名前を記入し、
受験番号シールを所定の欄にはりつけなさい。
- ② 答えはすべて、解答用紙に記入しなさい。
解答欄からはみ出た場合は不正解となります。
- ③ 解答用紙のみ提出しなさい。
- ④ 円周率は $\frac{22}{7}$ として計算しなさい。
- ⑤ 円すい、三角すい、四角すいの体積は、
$$(\text{体積}) = \frac{1}{3} \times (\text{底面積}) \times (\text{高さ})$$
 として求められます。
- ⑥ 比を答える問題は、もっとも簡単な整数の比で表しなさい。

1 に当てはまる数を求めなさい。

(1) $5.8 \div \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{31} \right) \times 2\frac{1}{2} = \boxed{}$

(2) $169 \div \left\{ \left(3\frac{1}{4} - \frac{4}{5} \right) \times \frac{1}{7} - 0.025 \right\} \times \left(0.06 - \frac{1}{25} \right) - 0.4 = \boxed{}$

(3) $\left(4.5 - 2\frac{1}{3} \times \boxed{} \right) \div 3\frac{1}{4} = \frac{11}{13}$

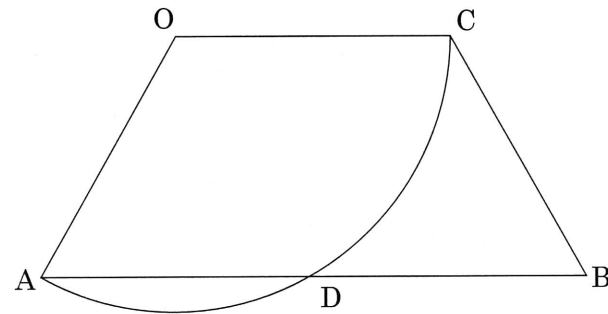
(4) $1\frac{1}{3} - \left\{ 1.125 - \left(\boxed{} - 2\frac{1}{4} \right) \div 3\frac{1}{7} \right\} \times \frac{1}{3} = 1\frac{1}{4}$

2 次の各問いに答えなさい。

- (1) 10%の食塩水Aと、5%の食塩水Bがあります。
- ① Aを200gとBを300gを混ぜてできる食塩水の濃さは何%ですか。
- ② Aを100gとBを gを混ぜてできる食塩水の濃さは9%でした。
 に当てはまる数を答えなさい。
- (2) 長さが950mのトンネルと、長さや速さがそれぞれ異なる列車A、Bがあります。
- ① Aは長さが110mで、毎秒15mの速さで走ります。Aの最後尾がトンネルに入ってから、先頭がトンネルを出るまでに何秒かかりましたか。
- ② Bは先頭がトンネルに入ってから、最後尾がトンネルを出るまでに52秒かかりました。また、最後尾がトンネルに入ってから、先頭がトンネルを出るまでに43秒かかりました。Bの長さは何mですか。
- (3) 5チームでリレーを行いました。各チームのアンカーはそれぞれA、B、C、D、Eの5人でした。次のことが分かっています。
- (ア) Aは1位でバトンを受け取りました。
- (イ) Aはバトンを受け取ってから順位を2つ下げてゴールしました。
- (ウ) Bは2位でゴールしました。
- (エ) Dはバトンを受け取る順番も、ゴールする順番もEの1つ後でした。
- ① 1位でゴールしたチームのアンカーは誰ですか。
- ② アンカーがバトンを受け取る順番として考えられるものは何通りありますか。
- (4) ある年、A、B、Cの3人の身長(せんじやう)の平均と、A、Bの2人の身長(せんじやう)の平均が等しく、AとCの身長(せんじやう)の差は6cmでした。
- ① この年のAとBの身長(せんじやう)の差は何cmですか。
- ② この年の1年後、Aは8cm、Bは5cm身長(せんじやう)が伸びており、AとBの身長(せんじやう)の平均はCの身長(せんじやう)よりも1cm高くなりました。Cはこの1年で何cm身長(せんじやう)が伸びましたか。

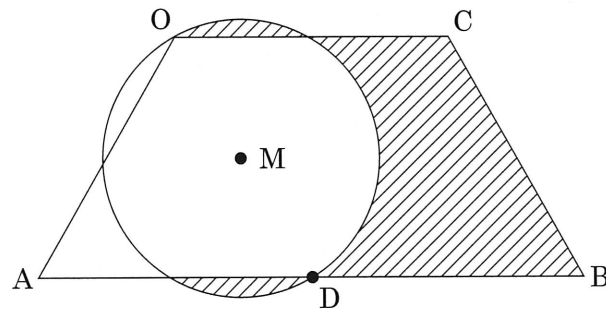
算数の試験問題は、次のページに続きます。

- (5) [図1] は OC と AB が平行な台形 $OABC$ と扇形 OAC を組み合わせた図形であり、 $OA = AD = DB$ です。



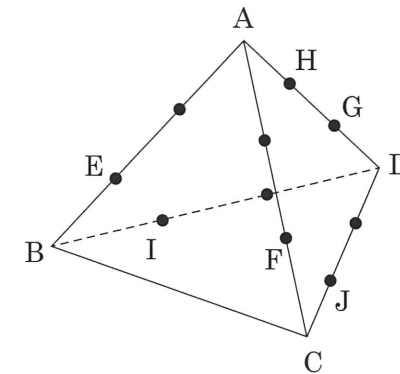
[図1]

- ① 角 AOC の大きさは何度ですか。
 ② [図2] は台形 $OABC$ に、 OD の真ん中の点 M を中心として、半径が MO の円をかき加えたものです。斜線部分の面積の合計は台形 $OABC$ の面積の何倍ですか。



[図2]

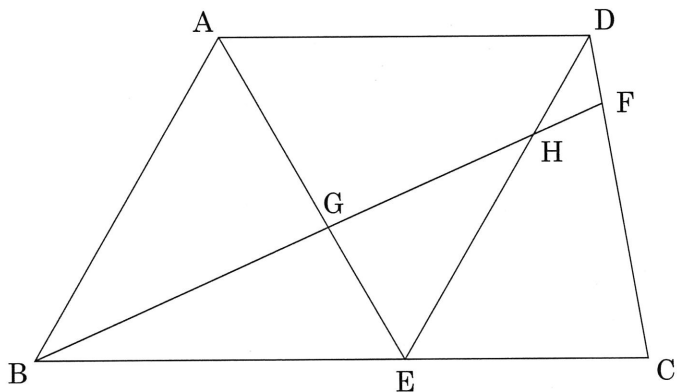
- (6) 下の図のような三角すい $ABCD$ があります。三角すいの辺上の点 (●) は各辺を3等分しています。次のような平面でこの立体を切り分けたとき、点 D を含む立体の体積は三角すい $ABCD$ の体積の何倍ですか。



- ① 平面 EFG
 ② 平面 EFG と平面 HIJ

算数の試験問題は、次のページに続きます。

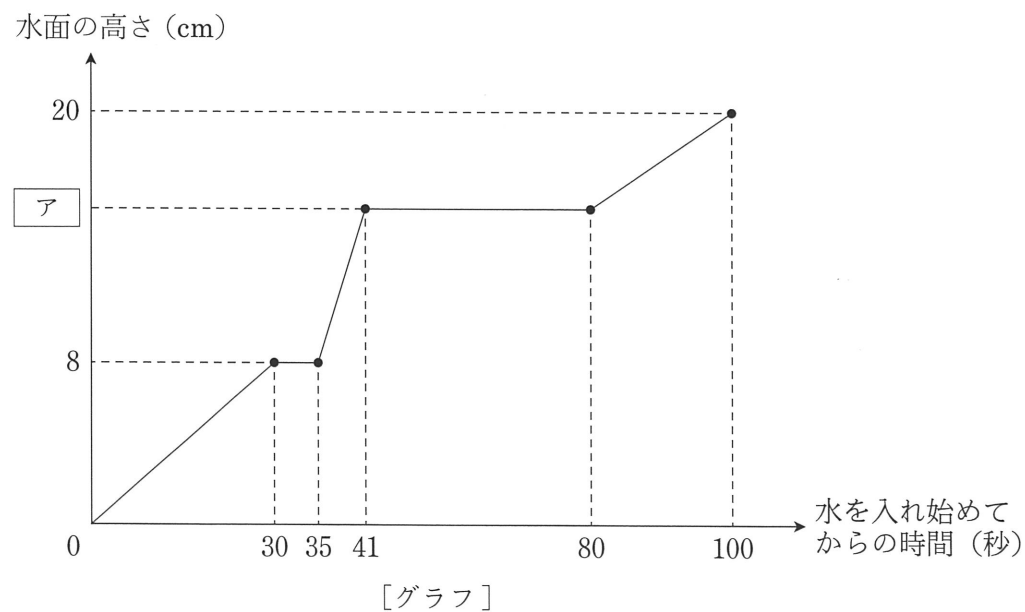
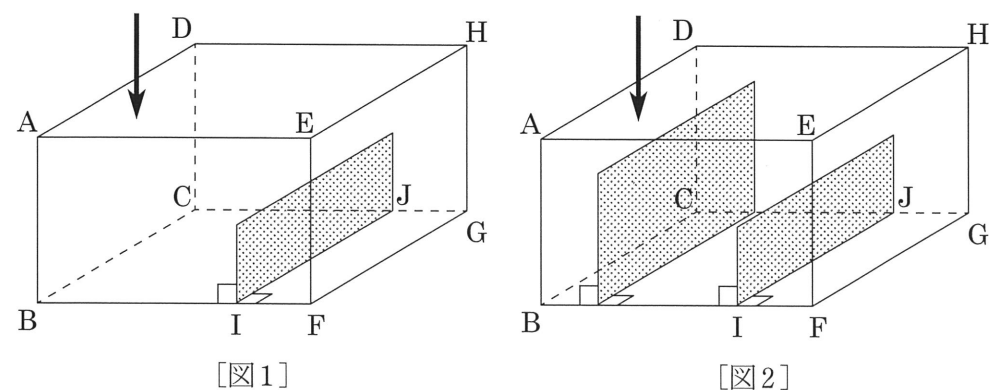
- 3 下の図の四角形ABCDは、ADとBCが平行な台形であり、 $AD : BC = 3 : 5$ です。四角形ABEDは平行四辺形であり、三角形ABGと三角形EHGの面積はそれぞれ 16 cm^2 、 9 cm^2 です。次の問いに答えなさい。



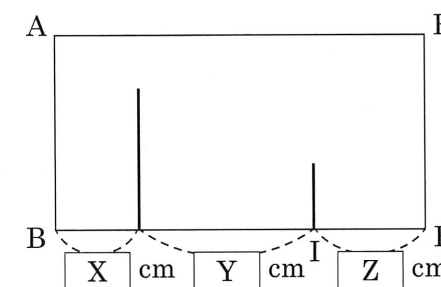
- (1) $BE : EC$ をもっとも簡単な整数の比で表しなさい。
- (2) $DH : HE$ をもっとも簡単な整数の比で表しなさい。
- (3) $DF : FC$ をもっとも簡単な整数の比で表しなさい。
- (4) 三角形DHFの面積を求めなさい。

算数の試験問題は、次のページに続きます。

- 4 [図1] のような直方体の水そうがあり、1枚の仕切りが入れています。この水そうに面BIJCの上から水を一定の割合で入れます。水を入れ始めてから何秒後かに新たに1枚の仕切りを面BIJCの部分に追加して[図2] のようになりました。水を入れ始めてから100秒後に水を入れるのを止めました。下の[グラフ] は、水を入れ始めてからの時間と水そうの辺ABの部分で測定した水面の高さとの関係を表しています。次の問いに答えなさい。



- (1) 仕切りを追加したのは水を入れ始めてから何秒後ですか。
- (2) 水を入れ始めてから35秒後の時点で、底面がBIJCの部分に入っている水の体積は、底面がIFGJの部分に入っている水の体積の何倍になりますか。
- (3) ア に当てはまる数はいくつですか。
- (4) 下の図は、仕切りを追加した後の水そうを横から見たものです。
 $\boxed{X} : \boxed{Y} : \boxed{Z}$ をもっとも簡単な整数の比で表しなさい。この問題については、求め方も書きなさい。



算数の試験問題は、次のページに続きます。

5 田中さんは3社の電話の使用料金を比較しています。1ヶ月あたりの使用料金は次の式で計算します。

$$(\text{使用料金}) = (\text{基本使用料}) + (1 \text{ 分あたりの料金}) \times (\text{電話を使用した時間})$$

A社、B社、C社の1ヶ月あたりの使用料金は次の表を使って計算します。

	基本使用料	1分あたりの料金
A社	5000円	10円
B社	200円	最初の20分まで60円 20分以降30円
C社	2000円	最初の80分まで0円 80分から 分まで45円 分以降20円

例えば、ある月に合計100分間電話を使用したとき、B社の使用料金は

$$200 + (60 \times 20 + 30 \times 80) = 3800 \text{ (円)}$$

になります。次の問いに答えなさい。

ただし、 ア オ に当てはまる数はすべて整数とし、1ヶ月あたりの電話の使用時間と使用料金を考えているものとします。

- (1) 次の時間だけ電話を使用したとき、A社とB社の使用料金の差はいくらですか。
- ① 20分
② 50分
- (2) イ 分電話を使用したとき、A社とB社の使用料金が同じになりました。
 イ に当てはまる数はいくつですか。

ウ 分電話を使用したとき、A社とC社の使用料金は同じで、B社の使用料金は500円高くなりました。

- (3) ア 、 ウ に当てはまる数はそれぞれいくつですか。
- (4) エ 分電話を使用したとき、C社の使用料金は2000円で、B社の使用料金より オ 円高くなりました。そこからさらに49分電話を使用したとき、B社の使用料金はC社の使用料金より オ 円高くなりました。このとき、
 エ 、 オ に当てはまる数はそれぞれいくつですか。

算数の試験問題は、これで終わりです。